

国際公共政策研究科教授会議事録

日時 平成23年7月21日(木) 14:00~16:00

場所 国際公共政策研究科棟会議室(6階)

出席者	星野研究科長、赤井、大久保、竹内、野村(茂)、野村(美)、松繁、松野、真山、宮越、村上、山内、米原、利、永谷、鳩澤、高井、福井、三成 各教授 大槻、河村、木戸、小原、内記、中嶋、蓮生、ホーキンス、山田、和仁 各准教授 尾川 講師	以上30名
欠席者	石橋、瀧井、長田 各准教授	以上 3名
海外渡航者	床谷教授	以上 1名
休職者	松浦教授	以上 1名

議事に先立ち、研究科長から6月16日着任の外国人招へい研究員、7月1日付け採用の特任研究員及び非常勤職員並びに7月31日付け退職の非常勤職員の紹介があった。

5月19日開催の教授会議事録及び議事要旨については、特に意見がなかったため確定したこと及び6月16日開催の教授会議事録及び議事要旨の確認があり、意見があれば7月28日までに研究科長に申し出るよう説明があった。

また、海外渡航中の床谷教授及び病気休職中の松浦教授を研究科教授会規程第5条により定足数から除外する旨説明があった。

協議事項

1. 奨学寄附金の受入れについて

研究科長から、資料1に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

2. 招へい教員の受入れについて

研究科長から、資料2に基づきLindsay Black氏(ライデン大学講師)の受入について説明があり、協議の結果、これを承認した。

3. 平成23年度非常勤講師任用計画の一部変更について

教務委員長から、資料3に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

4. 各種委員会委員の選出について

研究科長から、資料4に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

5. サバティカル制度に関する申し合わせの改正について

村上副研究科長から、資料5に基づき主な改正点及び細則を作成したことについて説明があり、協議の結果、これを承認した。なお、施行は平成23年7月21日とした。

6. 平成23年度研究生(私費外国人留学生)の受入れについて

教務委員長から、資料6に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

7. 平成23年度研究生（国費外国人留学生）の受入れ期間の変更について
教務委員長から、資料7に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。
8. 平成23年度開講授業科目の追加について
教務委員長から、資料8に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。
9. 学生異動について
教務委員長から、資料9に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

報告事項

1. 運営委員会

研究科長から、6月23日及び7月14日に開催した運営委員会において、人事関係、講演会・研究会の共催・後援、サバティカル制度に関する申し合わせの改正、JASSOに採択された「留学生交流支援制度事業」の実施方法等について検討した旨報告があった。

2. 教務委員会

教務委員長から、資料10に基づき平成23年度大学説明会への来場者数及び、指導教員の変更、出願資格審査請求、入試出題ミスの防止並びにアドミッション・ポリシーの新版作成手続等を検討した旨報告があった。

3. 大学教育実践センター会議

山内委員から、大学教育実践センターの平成23年度予算について協議した旨報告があった。

4. 国際交流委員会

松野委員から、現在、大学間協定締結を検討しているインドネシア・インドネシア大学について、各部局において同大学と交流をもっている教員の有無を確認していること及び平成23年5月1日現在の外国人留学生数について報告があった。

5. グローバルコラボレーションセンター会議

山内委員から、2011年度GLOCOL共同研究について承認したこと及び10月にGLOCOL上海セミナーが開催される旨報告があった。

6. 国際教育交流センター教授会

中嶋委員から、阪大生のための海外留学ガイドブック（2011－2012）が作成されたので活用いただきたい旨報告があった。

7. 学生生活委員会

野村（茂）委員から、一部の課外活動団体において一気飲み、早朝から騒音を出すなど不祥事が起きているため、委員会として、今後活動休止を含めた強い姿勢で臨んでいく旨報告があった。

8. 教育研究評議会

評議員から、資料11に基づき総長及び理事の交代、教員人事、大学入試センター試験（1月14日・15日）及び、個別学力検査実施に伴う臨時休業等についてそれぞれ報告及び審議された旨報告があった。

9. 豊中地区部局長会議

研究科長から、大学教育実践センター管理区域内での火気使用行為禁止、インターナショナル・イノベーション棟の平成24年度概算要求、豊中キャンパス自転車登録制度の発足、阪急石橋駅から阪大坂にかけての学生の通行マナーに対して苦情が寄せられていること、豊中地区保育所（125名収容）を国際交流会館の隣に建設すること（着工は本年12月、完成は来年

6月、開園は来年9月の予定である。)、刀根山寮下の空き地の有効利用及び迷惑電話(無言)が頻繁に掛かってきていることなどの報告があった。

10. 大学教育実践センター協議会

研究科長から、教授人事を承認した旨報告があった。

11. 部局長会議

研究科長から、資料12に基づき病原体等の取扱いに関する管理体制、平成23年度FD研修、平成23年度博士課程教育リーディングプログラム等について報告があった。

12. 創立80周年記念事業委員会

研究科長から、震災の影響で日程が変更された行事がそれぞれ粛々と実施されている旨報告があった。

13. 「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」推進協議会

研究科長から、大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業の中間評価に向けて報告書が作成される旨報告があった。

14. 適塾記念センター運営協議会

研究科長から、4月に発足した同センターのオランダ学研究部門の兼任教員として松野教授が参画している旨報告があった。

15. グローバルコラボレーションセンター運営協議会

研究科長から、新センター長として医学系研究科保健学専攻大橋一友教授が選出された旨報告があった。

16. EUIJ関西諮問委員会

利委員から、6月13日に神戸大学で開催されたEUIJ関西諮問委員会において第Ⅱ期第2年度の実施状況及び第3年度活動計画について承認した旨報告があった。

17. その他

①講演会・研究会の共催・後援について

研究科長から、資料13に基づき運営委員会において赤十字国際委員会による国際人権法集中講義に対して国際公共政策研究科が共催・後援となることを承認した旨報告があった。

②科学研究費補助金交付決定額について

事務部から、資料14に基づき報告があった。

③学術研究助成等の募集について

研究科長から、資料15に基づき報告があった。

④教員公募について

研究科長から、資料16に基づき報告があった。

教授会終了後、研究費不正使用防止についての研修会を実施した。

以上